

タイ王国/アーコム前運輸大臣による国際セミナー
「交通分野における日・タイ関係の現状と展望」
運輸総合研究所 奥田専務 挨拶

ご紹介いただきました、運輸総合研究所の専務理事の奥田でございます。

本日、アーコム前運輸大臣をお招きして「交通分野における日・タイ関係の現状及び展望」とのテーマでセミナーを開催しましたが、多くの方々にご参加をいただき有難うございました。また、アーコム前大臣、福田敦先生、福田トゥエンチャイ事務局長には大変有意義なご講演、対談をいただき、有難うございました。

冒頭、宿利会長から、今月から私が専務理事に就任させていただいた旨のご紹介をいただきましたけれども、就任前は今夏まで国土交通省で仕事をしておりました。近年、鉄道局や自動車局で仕事をしておりました際、本日の講演内容にありました鉄道整備、交通安全、公共交通に絡めた都市開発などの仕事を行っていましたが、その都度アーコム前大臣のお名前を聞くことが多く、冒頭の藤田事務次官の紹介でも触れられていたとおり、国土交通省では大変有名な方であり、世界中の交通運輸大臣の中でもおそらく最も著名な方であったかと思えます。その緊密な関係を象徴するものの一例として、国土交通省で策定したインフラシステム海外展開行動計画に総括表があり、世界の30ヶ国について83のプロジェクトが掲げられていますが、タイについては9つのプロジェクトが掲げられており、一国の数で言いますと一番多い状況であり、そういったことから緊密な関係が伺えるかと思えます。

こういったプロジェクトが円滑に進むことを願っているところでありますが、アーコム前大臣が取り組んでこられたプロジェクトの推進などについて、『ご在任1775日間の記録』という本が出版されています。アーコム前大臣のご講演の中でもキーワードとして出ていた”One Transport for All”というタイトルが付いていまして、訳文では「みんなの幸せのための交通」とされており、結びの中で「在任1775日の成果で得られたインフラを国民がもっと利用し、子供たちにとってもっと暮らしやすい国になると信じています。」という内容があり、これはご自分のなさった仕事子供たちのためになるという志を拝見いたしまして大変感心しましたが、これもアーコムさんのお人柄を表すものと思っております。

今、敢えて「アーコムさん」と言わせていただきましたが、ちょっと横道

にそれですけれども、このセミナーが始まる前に、宿利会長の挨拶の中で、「アーコム前大臣」なのか、「大臣閣下」なのか、どうぞ紹介すればよいか、会長と福田先生と私で大真面目に議論していたところ、アーコム前大臣がその状況をお分かりになったようで、我々の方を向いて日本語で「アーコムさんでいいですよ」とおっしゃいまして、敢えてそういうお人柄紹介のために「アーコムさん」と言わせていただいた次第です。

結びに、本日まで参加いただきました皆様にとって、本セミナーが有意義であったことを願いますとともに、ご登壇いただきました御三名の方々への感謝、また本日まで参列の皆様のご健勝を祈念させていただきまして、私のご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございました。

(以上)